



# かざし

(公財) 長野県長寿社会開発センター 46号

飯伊地区賛助会

平成29年7月14日

事務局 飯田市追手町2-678

飯田保健福祉事務所福祉課 (飯田合同庁舎)



平成29年度

## 飯伊地区賛助会総会開かれる

平成29年度飯伊地区賛助会総会が、さる6月2日(金)、午後1時30分より飯田合同庁舎3階講堂で開催されました。総会に先立ち記念講演として、松川町 宮澤芳重の会会長 松下 拓先生による「地蔵になった男—生き方と学び—」と題して、芳重の大学構想・大学創建に向けての取り組み・学習への姿勢等について大変有益な講話をお聞きすることができました。

講師  
宮澤芳重の会会長  
松下 拓  
先生



聴講者は、シニア大学1・2年生の参加もあり90人余りになり大変盛況でした。(講演会の詳細は6ページに掲載)

講演会に続き、総会では巻井清人会長、石澤一志事務局長の挨拶の後、平成28年事業・会計報告、監査報告の議案が承認され、平成29年度役員(案)、事業計画(案)、予算(案)の議案が原案通り承認されました。



「生き方と学び」講演会の様子



総会で挨拶  
賛助会会長 巻井 清人

# シニア大39期生入学式

シニア大学飯伊学部39期生の入学式が、5月9日(火)県飯田合同庁舎で行われました。今年度は63名が入学しました。

松岡裕之学部長の式辞、小池清県会議員の祝辞があり、入学生を代表して、清水多美勇さんが入学生を代表して挨拶をされました。入学をお祝いして「飯伊地区緑の募金委員会」から盆栽仕立てのサツキが、代表の矢澤和子さんに贈呈されました。最後に、今年賛助会グループとして立ち上がった「ハーモニカクラブ福寿草」の皆さんの伴奏で「県歌信濃の国」を全員で歌い、39期生の活動が始まりました。



学部長式辞



小池県議祝辞



入学生代表挨拶



記念樹の贈呈



伴奏するハーモニカクラブ福寿草の皆さん

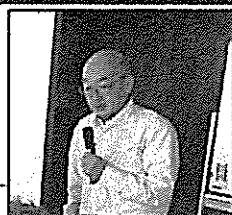
## 内山二郎理事長をお迎えしての意見交換会

と き：平成29年6月6日(火) 15:20~17:00

ところ：県飯田合同庁舎302号会議室

出席者：(公財)長野県長寿社会開発センター理事長 内山二郎

事務局 清水仙一郎 賛助会役員9人 事務局2人 計13人



### 意見交換された概要

(事務局長)4月までに県下で27グループが立ち上がった。例年より多く、グループ立ち上げ資金復活の効果はあった。グループ立ち上げ資金の原資になる賛助会費の納入をグループで取りまとめるグループは197の内108が取り組んでくれるとの事。グループ立ち上げ資金は8月上旬にはお渡しできる見込み。

(賛助会役員)・シニアはいつまでも働きたいと願っている。授産所など地域のコミュニティーづくりを含めて集える場所づくりを整備していくことも必要ではないか。

・賛助会グループは、群れて遊ぶためのグループになっているのではないか。楽しむこともよいが折角余生を生きているのだから、社会に役立つこと、後世のために残すことを行うという気概を持たなくてはならないのではないか。

・高齢化社会を世界に先駆けて体験している。高齢者が支えられる側から支える側へと転換していくことが求められている。今シニア世代はだれも経験していないフロンティアである。私たちが意識改革をしていかななくてはならない。

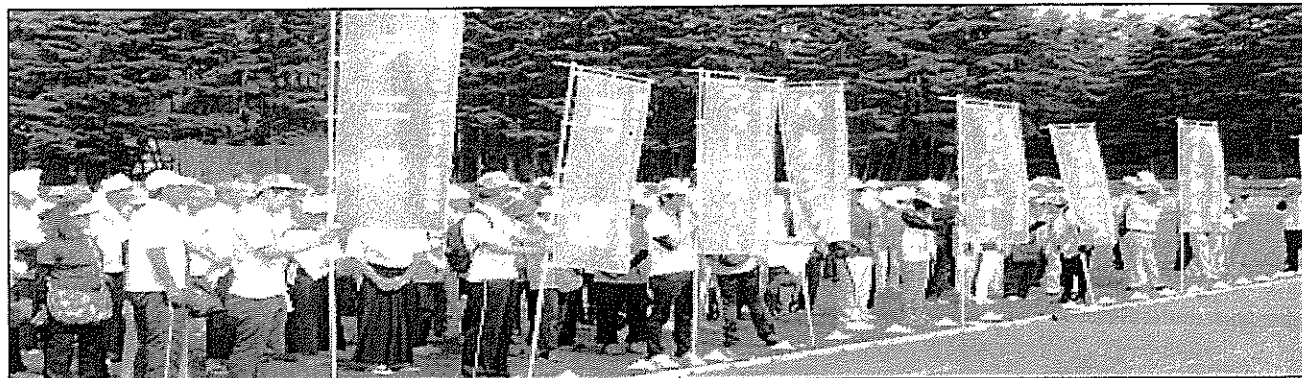
(理事長)今まで賛助会でこのような内容の話し合いはなされなかった。素晴らしい。

# シニアの祭典

## 2017 信州ねんりんピック開催

毎年、長野県内4地区（南信・中信・東信・北信）を回りながら開催される信州ねんりんピック。

**本年は南信地区（駒ヶ根・茅野市）で開催されます。**



### スポーツ交流大会

茅野市運動公園

9月30日(土)

ダンススポーツ・グラウンドゴルフ・ゲートボール・ソフトテニス・ソフトバレーボール・ペタンク  
ウォークラリー・弓道・テニス・マレットゴルフ

●参加申込み…平成29年7月28日(金)まで

参加資格 長野県内在住の60歳以上の者（昭和33年4月1日以前に生まれた者）。  
なお競技種目によっては、チーム編成等において参加条件の規定があります。

参加費 1人500円（資料・保険料等）

### 文化・芸術交流大会

駒ヶ根市文化会館ほか

○式典・パネルディスカッション・ステージ発表など 12月2日(土)

・会場 駒ヶ根市文化会館

○高齢者作品展 12月1日(金)～12月3日(日)

・会場 駒ヶ根市総合文化センター

・内容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の6部門の展示

・出品作品は未発表のものとする。

○囲碁・将棋大会 12月2日(土) 駒ヶ根総合文化センター

●作品展出品申込み締め切り…平成29年10月27日(金)まで

近いでね  
大勢の参加を

皆で行くで  
楽しいに



★さあ作品づくりに！  
スポーツは  
優勝目指して頑張りまいか！

※詳しくは飯田保健福祉事務所福祉課まで ☎0265-53-0464 FAX0265-53-0474

# 開催予告

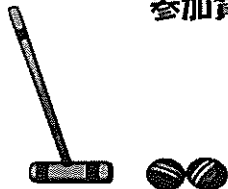
## (公財) 長野県長寿社会開発センター 飯伊支部事業 マレット交流会

通常のマレットゴルフ競技大会でなく、マレットゴルフを通して、介護予防の健康づくりや、新たな仲間づくりにつながる場として、「マレットゴルフ交流会」を企画中です。初心者でも楽しめるよう、お楽しみコースや、昼食をとりながらの交流タイムなど、現在計画しています。

上手い下手にかかわらず、奮ってご参加を。

と き： 平成29年10月19日(木) 雨天順延 10月20日(金)  
 受付 開始 9:00 開会式 9:30 開始 10:00  
 ところ： 親水公園マレットゴルフ場(下久堅) 募集定員 108名  
 参加費： 500円(昼食代、傷害保険等含む)

主 催 (公財) 長野県長寿社会開発センター 飯伊支部  
 (公財) 長野県長寿社会開発センター 飯伊地区賛助会



### 平成29年度 飯伊地区賛助会事業

(7月以降)

月	センター本部事業 県・(公財) 長寿社会開発センター	センター飯伊支部の事業 賛助会が支援・賛助会公益事業	地区賛助会 役員会・グループ活動
7	活動サポーター・推進委員研修	賛助会加入促進 活動サポーター	役員会・会報印刷 7日 情報誌発送 夏号 14日
8			
9	平成29信州ねんりんピック スポーツ交流会 30日 (茅野市運動公園)	スポーツ交流会 30日	役員会 22日 スポーツ交流会 30日
10		支部事業(マレット交流会) (19日・20日予備日)	役員会・会報印刷 6日 情報誌発送 秋号 13日
11	活動サポーター・推進委員研修		役員会 24日
12	平成29信州ねんりんピック 文化・芸術交流会 2日 (駒ヶ根市文化会館ほか) 地区賛助会連絡協議会(後期) 正副会長会議(未定)	ねんりんピック参加 2日	ねんりんピック 2日 役員会 15日
1			役員会・会報印刷 12日 情報誌発送 春号 19日
2		県高齢者作品展飯伊地区 入賞作品展 県高齢者作品展表彰式(未定) シニア大学1年生終業式 20日 シニア大学2年生卒業式 27日	役員会・賛助会発表 タウンミーティング(未定) 9日
3			役員会・準備会(未定)

(公財) 長野県長寿社会開発センター飯伊支部飯伊地区賛助会 グループ活動状況

(H29.5.25 現在)

	グループ名	代表者名	主 な 活 動 内 容
1	飯伊フロンティア	大島 安好	信州りらくや機関紙賛助会報の発送、賛助会活動への協力を中心に情報交換や研修活動を行う。
2	劇 団 赤 門	宮島 節男	芸能の習得と技術の向上をはかり、老人ホーム等の演劇ボランティア活動を行う。公演回数400回を目指す。
3	シニアニューススポーツクラブ	名取津義生	ニューススポーツの習得を通して、健康な身体を作ると共に、体育行事に参加し、ニューススポーツの指導普及の補助活動を行う。
4	あい、あい、あいの会	日比野千恵	歌や手品等の習得を通して、個人あるいはグループ、地域の仲間等で病院等を訪問し、共に友愛を深める。
5	てるてる料理教室	西野 武久	成人病予防を中心に若返りやバランス食の調理実習、講義を受け健康と生きがい作りをすすめる。
6	ダンボーの会	代田久美子	裁縫グループとして活動し、作品は福祉施設、子供会へ提供する。
7	双葉会	大平 時恵	芸能を通して、福祉施設との交流活動を行うとともに会員の健康増進と親睦を図る。
8	史跡めぐり31会	原田 均	史跡めぐりにより地域の歴史や文化を学び、地域の活性化に努めると共にボランティア活動を通して会員相互の親睦を図る。
9	三六期会	清水 明	シニア大学のパソコンクラブの仲間が、卒業後も様々な活動を行なっていこうと新たなメンバーを加えて発足。婚活サポーターもその一つ。
10	NSU37人形劇活動班ふたご座	森山 幹夫	シニア大学在学中人形劇団を作って上演した経験から、更に別の演目を上演し、飯田人形劇フェスタサポートスタッフとしても活動する。
11	七葉会	井原 健治	シニア大学在学中ハーブについて研究した仲間が、さらに知識を深めると共に、福祉施設でのボランティア活動も行うことを目指している。
12	ハーモニカクラブ福寿草	菅沼 昭彦	シニア大学在学中ハーモニカクラブで習ってきた仲間が、卒業後も活動を継続し披露できる曲を増やして様々な場面や場所で演奏をする。
13	383会	松下 泰見	シニア大学在学中の仲間(現在2年生)が、料理を作ったり、福祉施設でボランティア活動をしたりした経験を生かして、様々な活動を行う。

※ グループ活動の詳しい様子につきましては、次号の会報「かざこし」より紹介コーナーを設け発表して参ります。

《賛助会の催事への参加のお願い》

賛助会では、いろいろな催し物を企画、計画しております。今回の「かざこし46号」には、「2016 信州ねりんピック開催案内」が3ページに載っています。今後も紙上に何らかの催事案内を載せていきます。会員個々の皆様にご案内できない場合もありますので、「かざこし」の開催案内をご覧ください多くの方々のご参加をお願いいたします。

《原稿募集》

機関紙「かざこし」は、年4回発行しています。編集部では、毎回賛助会員の皆さん並びにシニア大学学生の皆さんからのご投稿をお待ちしています。詩歌・散文など何でも結構です。

送付先は下記へ

事務局 飯田保健福祉事務所・福祉課 担当 松沢・今村 ☎ 0265-53-0464

《編集後記》

長野県は長寿県である。で、長野県長寿社会開発センターがある。そして県内各地域に賛助会があつて、それぞれ色々活動しとる。

人生二毛作、健康的老後、楽しい老後、仲間づくり、いずれも大事なことじゃ。だどもなあ、何か一本柱になるものが足りん気がしとる。

人間様他の生き物と違ごうて、生殖機能衰えても生かされとんじゃ。それって何かやれちゆうことなんじゃろうなあ。費やすことが老後ちゆうこんにゃならんのじゃ。それぞれがそれぞれの生き様示すことによつて、人間の進歩、活性が図られるこんじゃろうなあ。

神様なんぞいるかいねえかわからんども、もし神様がいたりすりゃ「おめえさんたあようやったな、塾春を精一杯頑張つて乗り切つたんじゃもんなあ、だどもそんなこたあ誰もやつとるこんじゃ。安心して一息いれとる暇なんぞねえんじゃ。これからおめえさんたあ何をどうやって何をするかによつて、おめえさんたあこの世に生を受けた価値問われとんじゃぞ、甘えとんじゃねえぞ、群れて、楽しんで老を食い潰しとるだけの老後なら、早くエンマ様に引き取つてもらつた方が世の為人の為じゃ。エンマ様何も言わず全部引き取つてくれるわ。ただその行く先は無限地獄じゃ。おめえさんたあ、次の世代の肥やしになるような生き様示してみろ。そしたらわしが引き取つてやる。わしの世界は誉れある霊異の霊界じゃ。

困つた。編集後記からどどん離れて行く。さて、長野県長寿社会開発センターの偉い様方、如何にお考えですかなあ。

鋤柄 惟夫

# 講演 いま 宮澤 芳重

## 「地蔵になった男」宮澤芳重にまなぶ

講師 宮澤芳重の会 会長 まつした ひろむ 松下 拡 先生

### 《松下拡先生のプロフィール》

昭和6年(1931年)松川町生田に生まれる。現在86歳  
小学校教師を務めた後、1962年より松川町  
公民館主事・社会教育主事として24年間務める。

退職後は、都留文科大学、飯田女子短期大学などの  
講師を務める傍ら、全国各地の保健師・住民の学習会  
講師として活躍される。



### 宮澤芳重について

- ・明治31年(1898年)生田村(現松川町)に生まれる。(農家の長男)  
父親の許しが出ず、進学を諦めて家業(農業養蚕)に従事しながら読書にふける。
- ・大正7年(1918年)壮丁検査(結果は丁徴兵を免れた)  
20歳で意を決意して上京し(丁稚奉公)、学びの目的を天文学と数学と哲学に据えた。  
(この目的は生涯一貫して貫かれた)  
職を転々としながら、昭和14年脳卒中で倒れるまで15年間数学の勉強に打ち込みながら多くの哲学書や天文学の学習に取り組んだ。
- ・昭和19年(1944年)生田での疎開生活。この疎開中に、新学制の改革に際し、下伊那郡下を歩き地域の教育構想を練り、北部地区への高校設置の必要性を請願しながら、同時に「飯田大学」の構想を描き始めた。
- ・昭和24年(1949年)上京。昭和45年(1970年)死ぬまで極度の貧困生活(ニコソンの仕事)をしながら、勉学に励み続けた。この間、飯田高校への天文台設置や図書の寄贈をはじめ飯田大学の創設を目指す取り組みを続けた。そして死後 自分の体を学生の研究の為に、と検体して一生を終えた(72歳)

### 芳重の大学構想

- ・誰もが実家から通える処に大学を作ること。
  - ・飯田に作る大学は、地域住民による「郷立大学」であること。  
芳重はこの構想に基づいて、具体的な取り組みを進めた。
- ① 飯田図書館への基本図書の送付
  - ② 飯田高校への天体望遠鏡の設置
  - ③ 下伊那教育機構研究連盟の発足と取り組み。



### 芳重を地蔵に

人々は「変わり者」と見つつも、芳重の「他者に対する誠実さと律儀さ」やその行動と考え方が見えてくると「尊敬」に変わった。自我を捨て地域を考えていた芳重の思いを無にしてはならないと昭和47年(1972年)に「芳重地蔵」を地元の生田東小学校に建立した。